

中学校第1学年 総合的な学習の時間学習指導案

単元名：食を探る(「地場産物」を広めよう)

単元について

(1) 単元観

近年、消費者の農産物に対する安全・安心志向の高まりや生産者の販売の多様化が進む中で、消費者と生産者を結び付ける「地産地消」への期待が高まってきている。この「地産地消」とは、「地元で生産されたものを地元で消費する」という意味である。

地場産物には、生産者のこだわりや誇りが込められており、新鮮で旬の味が楽しめるというよさがある。また、直売所やスーパーの地場産物コーナー等で販売していくことは地域の活性化にもつながる。このような地場産物について学習することは、地域のよさを知っていくことであり、郷土を愛する気持ちを育てていくことにもなる。

地場産物について課題解決的な学習を仕組むことで食に対する関心を高めるとともに、考えたことを基に実践しようとする力や仲間と協力してやり遂げようとする力を養うことができると考える。本単元では、地場産物の活用を促進するという課題の解決に向けて情報の収集・整理・分析を行い、グループで新聞というメディアにまとめ広報活動を行わせる。

また、この学習は技術・家庭科や保健体育科さらに理科など各教科との関連性も強く、生徒が各教科で学んだ知識・技能等を活用して探究していくことで、主体性、思考力・判断力・表現力を育むことが期待できる。

(2) 生徒観

本学級は、明るく意欲的に学習に取り組む生徒が多い。また、小学校6年生のとき自分で料理を考え、弁当を作る体験をしており、食についての興味関心は高い。

学習に関するアンケートでは、直面した課題に対し、「なぜだろう？やってみよう」と思う生徒は80.7%であり、「こうすればできるのではないか」と予想をたてるのは87.1%であった。一方、「課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています」は46.9%で、課題解決のために自ら進んで情報収集する経験が十分でないと考えられる。

食に関するアンケートでは「東広島市の地場産物をいくつ知っていますか？」の問いに3～8種類を知っていると答えた生徒は88.9%で、知っている東広島市の郷土料理については1～3種類と答えた生徒が94.4%であった。これらのことから、東広島市の地場産物については一定の認識はあるが、地場産物から生み出された郷土料理についての認識は低いことがわかった。

(3) 指導観

指導に当たっては、食に対する関心を踏まえ、「東広島の地場産物の活用を促進するために、新聞記者としてどのような新聞記事(具体的内容)にまとめて紹介するとよいか考えましょう。」というパフォーマンス課題を投げかけ、その課題解決に向けた学習を展開する。パフォーマンス課題を解決していく学習の課程で、地場産物についての情報収集を行い地場産物の理解を深めさせる。収集した情報を整理・分析し、伝えたい内容をどのように表現していくかという経験を積ませる。

課題設定の場面では、どのような内容を提案していくかという提案内容を立案させる。また、主体的・協同的な探究をさせるために、担当地区ごとにグループ学習をさせる。情報収集の場面や整理・分析の場面では、ゲストティーチャーを招いての聞き取り学習を行い、地域の方の生の声を聞かせ、地場産物をより身近なものとして意識できるようにしていく。そして、まとめ・創造・表現の場面では、主体的な取組を促し、グループごとに調べたことをまとめて発表させていく。生徒が作成した提案内容は、店舗やHPに掲示するなどして地域へ広める活動としたい。

また、振り返りや評価に生かすため、「ことば」での表現を記録させるとともに、ワークシートをポートフォリオ形式(1枚ポートフォリオ)にし、本単元の全時間を通して使えるようにする。

単元の目標

○東広島の「地場産物」について調べ、郷土を愛する心情を育てるとともに、さらに普及するための方法について主体的に考え、考えたことをもとに広報活動をするなど実際に行動しようとする実践力を養う。

【本質的な問い】

「地場産物」がもっと活用されるようにするためにはどうしたらよいだろうか。

【永続的理解】

「地場産物」は、地域の生産者の思いやこだわり、誇りが込められた品質のよい食材であることを広めていくとよい。

【パフォーマンス課題】

あなたは、東広島新聞社の記者です。地域の農家より「地場産物」のさらなる普及について依頼を受けました。東広島の「地場産物」がもっと活用されるようにするためには、どのような新聞記事（具体的内容）にまとめて紹介するとよいか考えましょう。

【B評価の基準】

東広島の「地場産物」の特徴について分かりやすく工夫して説明している。また、その良さを取り入れたレシピ等を具体的に提案している。

本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

【課題解決力】現状から課題とその原因を見極め、効果的な手立てを考え実行する。

- ・課題解決のためにどのような情報が必要か考え、情報収集に取り組んでいる。
- ・ゲストティーチャーや地域の方に対して、「地場産物」を広めるための具体的内容を提案している。

【思考力・判断力・表現力】知識や情報を活かしながら、論理的に思考する。

- ・ゲストティーチャーの話や、自分で調べたことを基に、東広島の「地場産物」をどのように紹介することで広めていくことができるか考えている。

【主体性】物事を自分のこととして捉え、積極的に関わろうとする。

- ・学習課題を自分のこととして捉え、積極的に「地場産物」を広めるための具体的内容を考えている。

【メタ認知力】

- ・学習全体を通して自分の考えや行動を客観的に振り返り、自分自身の変容について考え、より良いものをめざしている。

【人間関係形成力】周りの人と上手にコミュニケーションを図る。

- ・分からないときに仲間に助けを求めたり、仲間が困っているときに声をかけたりしている。

【共感力・使命感】互いの意見を尊重しながら、同じ目標に向かって物事を進める。

- ・互いの意見を尊重しながら課題解決に向けて班の話し合いを建設的に進めている。

単元(題材)の評価規準

学習方法	自分自身	他者や社会とのかかわり
<ul style="list-style-type: none">・課題解決のためにどのような情報が必要か考え、情報収集に取り組んでいる。・ゲストティーチャーや地域の方に対して、「地場産物」を広めるための具体的内容を提案している。【課題解決力】・ゲストティーチャーの話や、自分で調べたことを基に、東広島の「地場産物」をどのようにして広めていくかを具体的に考えまとめている。【思考力・判断力・表現力】	<ul style="list-style-type: none">・学習課題を自分のこととして捉え、積極的に課題に対する答えを導きだそうとしている。【主体性】・学習全体を通して自分の考えや行動を客観的に振り返り、自分自身の変容について考え、より良いものをめざしている。【メタ認知力】	<ul style="list-style-type: none">・分からないときに仲間に助けを求めたり、仲間が困っているときに声をかけたりしている。【人間関係形成力】・互いの意見を尊重しながら課題解決に向けて班の話し合いを建設的に進めている。【共感力・使命感】

指導と評価の計画

次	学習内容（時数）	評 価			教科との関連
		学	自	他	
	課題設定 パフォーマンス課題 東広島の「地場産物」の活用を促進するためには、どのような新聞記事を提案すればよいのかを考える。 (1)			○	【共感力・使命感】互いの意見を尊重しながら課題解決に向けて班の話し合いを建設的に進めている。 ・社会「食文化、材料の産地」 ・数学「資料の活用」
	情報の収集、整理・分析 「地場産物」を広めるためにはどのような内容を具体的に提案すればよいか考える。 (1)	○		○	【主体性】学習課題を自分のこととして捉え、積極的に課題に対する答えを導き出そうとしている。 【課題解決力】課題解決のためにどのような情報が必要か考え、情報収集に取り組んでいる。 【人間関係形成力】分からないときに仲間に助けを求めたり、仲間が困っているときに声をかけたりしている。 ・美術「色の広がり、色の魅力」「楽しく伝える文字のデザイン」 ・社会「食文化、材料の産地」
二	課題設定 担当地区の「地場産物」について提案する内容を考えよう。 (1)			○	【主体性】学習課題を自分のこととして捉え、積極的に課題に対する答えを導きだそうとしている。
	情報の収集、整理・分析 東広島市の「地場産物」について、地域の方に来ていただきお話を聞く。 (2)	○			【思考力・判断力・表現力】 ・ゲストティーチャーの話や、自分で調べたことを基に、東広島の「地場産物」をどのようにして 広めていくかについて考えている。 ・家庭「食生活と自立」「わたしたちの食生活」
	情報の収集、整理・分析 家での聞き取りをする。調べたことについて交流する。課題解決のための計画を立て実行する。 (4)	○		○	【人間関係形成力】 ・分からないときに仲間に助けを求めたり、仲間が困っているときに声をかけたりしている。 【課題解決力】課題解決のためにどのような情報が必要か考え、情報収集に取り組んでいる。 ・家庭「調理と食文化」「だし汁の作り方」
三	まとめ・創造・表現 実行 「地場産物」のプレゼンテーションをする。(本時) (1)	○			【課題解決力】 ・ゲストティーチャーや地域の方に対して、「地場産物」を広めるための具体的な内容を提案している。 ・国語「プレゼンテーション」
四	実行 課題解決に向け前時で得た情報をもとにより効果的な内容を考えまとめる。(1)	○			【思考力・判断力・表現力】 ・東広島の「地場産物」をどのようにして広めていくかを具体的に考えまとめている。
五	振り返り 学習全体を振り返る。 (1)		○		【メタ認知力】学習全体を通して自分の考えや行動を客観的に振り返り、自分自身の変容について考え、より良いものをめざしている。

本時の学習

(1) 本時の目標

ゲストティーチャーや地域の方から取材し作成した新聞を活用し「地場産物」を広めるための具体的内容を提案する。提案内容についてゲストティーチャーから評価をいただき、最終的に提案する内容をまとめる資料とする。

(2) 評価規準

ゲストティーチャーや地域の方に「地場産物」を広めるための具体的内容を提案している。

【課題解決力】

(3) 本時の学習展開

	指導上の留意事項 (○) (◇「特別な支援を必要とする生徒」◆「努力を要する状況」と判断した生徒への指導の手立て) (□ICTを活用した指導の工夫)	評価規準 観点 (評価方法)
<p>1 本時の位置付けの確認と振り返り (2分)</p> <p>2 めあての確認 (3分)</p>	<p>T1:○この単元全体の見通しと本時の位置付けを確認する。 □パワーポイント資料をプロジェクターで示し視覚的に捉えさせる。</p>	
ゲストティーチャーの皆さんに、「地場産物」を広めるための具体的内容を提案しよう。		
	<p>○ゲストティーチャーを紹介し、グループで提案するものを分かりやすく発表できるよう意識させる。 ◆◇原稿の読み合わせをさせ、きちんとできるように準備させる。</p>	
<p>3 AからEの各グループからの代表者1～2名で構成される5グループを編成し、グループ内で代表者が提案内容を発表する(30分) (自分たちのまとめたことをそれぞれ5分以内で提案する) ・参考になった発表内容を選び、理由をワークシートに書く。 ・ゲストティーチャーから提案内容について助言をいただく。</p> <p>4 全体で交流を行う。(10分) ・参考になった点を整理する。</p>	<p>○各グループ代表から提案された内容のよい点や工夫点など参考にしたいと思ったところをワークシートに記録させる。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> A 〈豊栄・福富〉新聞グループ B 〈河内・高屋〉新聞グループ C 〈志和・八本松〉新聞グループ D 〈西条・黒瀬〉新聞グループ E 〈安芸津〉新聞グループ </div> <p>○ゲストティーチャーからの助言を記録させる。</p> <p>○他グループの提案内容で参考にしたいと考えたことやゲストティーチャーからの助言を発表させ交流をさせる。 T2:◇キーワードを黒板に書き上げる。 ○T2:提案についての質問を促し、「地場産物」について助言したりする。</p>	<p>【課題解決力】</p> <p>・ゲストティーチャーや地域の方に対して、「地場産物」を広めるための具体的内容を提案している。</p>
<p>・地場産物のよさや魅力をアピールしていた。 ・印象に残る分かりやすい言葉でまとめていた。 ・生産者のコメントからやりがいや仕事に対する熱い思いを紹介して地場産物をPRしていた。 など</p>		

<p>5 まとめ グループ交流及び全体交流から得た情報をもとに「地場産物」の活用促進に向けてより効果的な提案内容となるよう整理する。 (5分)</p> <p>・地場産物のよさや魅力をもっと前面に出してアピールする。 ・印象に残る見出しやフレーズを活用する。 ・生産者の熱い思いやこだわりを効果的に紹介する。 など</p>	<p>○次時に向けて交流から得られた情報をもとに、「地場産物」の活用促進に向けてより効果的な新聞内容となるよう整理させる。 ◇黒板に書かれたキーワードを使って整理するよう促す。</p>	
--	--	--

※太線囲みは言語活動